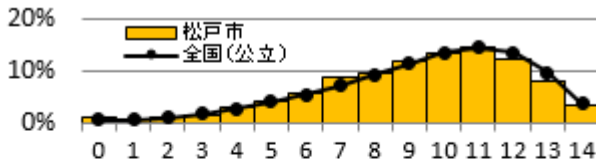


令和5年度全国学力・学習状況調査 松戸市の学力状況【小学校】国語・算数

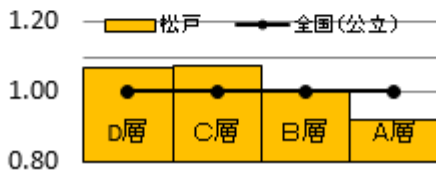
※令和元年度より国語A、B及び算数A、Bがそれぞれ国語、算数となって出題されています。

正答数と4つの学力層の分布

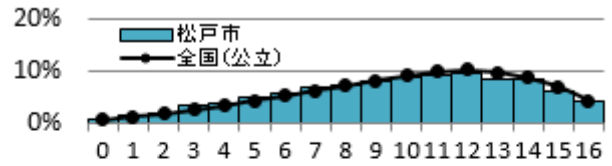
小学校 国語



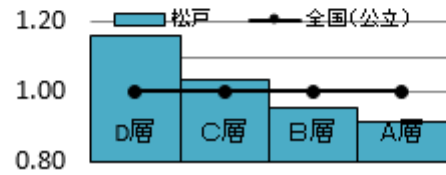
層	D層	C層	B層	A層
	0問～6問	7問～9問	10問	11問～14問
松戸市	17.7%	30.2%	13.5%	38.4%
全国(公立)	16.6%	28.1%	13.5%	41.7%



小学校 算数



層	D層	C層	B層	A層
	0問～6問	7問～9問	10問～12問	13問～16問
松戸市	22.6%	22.2%	27.9%	27.5%
全国(公立)	19.5%	21.5%	29.2%	30.0%



【傾向と課題】

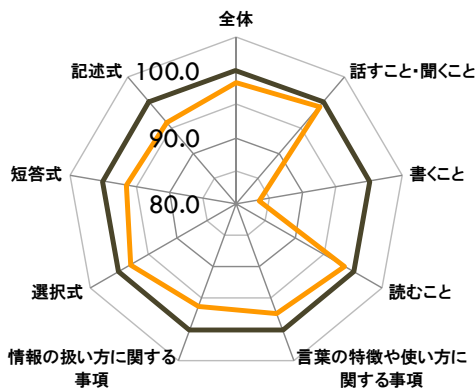
「正答数」について、国語、算数ともに、おおむね全国と同程度の分布状況です。

「4つの学力層」については、全国と比較し、国語はD層 C層の割合が高く、A層の割合が低いこと、算数はD層 C層の割合が高く、B層 A層の割合が低いことが課題です。

3年間の推移(全国平均を100とした指数)

標準化得点	国語	算数
令和3年度	99	100
令和4年度	100	99
令和5年度	99	99
全国(国公私)	100	100

教科についての傾向と課題(各区分の全国の平均正答率を100とした場合の相対値を示す)



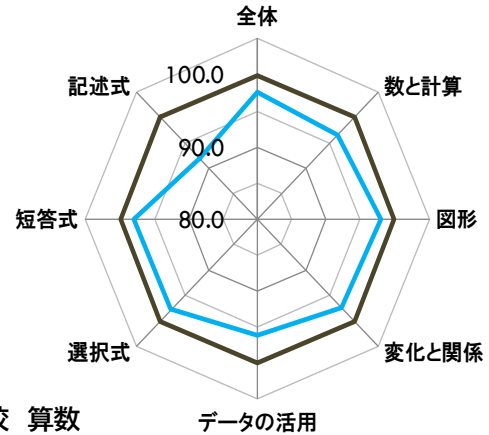
小学校 国語

【傾向と課題】

領域「話すこと・聞くこと」については全国平均と同程度ですが、全体的に全国平均を下回っており、特に領域「書くこと」について課題が見られます。

【改善のポイント】

文章を記述する場面では、友達と助言し合いながら、自分自身の文章を見直したり、書き直したりできるよう指導することが大切です。また、教師が、図表やグラフ等を用いたモデルとなる文章を提示することが効果的です。



小学校 算数

【傾向と課題】

領域では、全国平均と比べると若干下回っているが全体的にほぼ同程度です。

問題形式では、特に「記述式」に課題が見られます。それ以外は全国平均と、ほぼ同程度です。

【改善のポイント】

目的に合った数の処理の仕方を考えること、目的に応じて表やグラフを読み取り、データの特徴や傾向を捉えて考察できるようにすることが大切です。

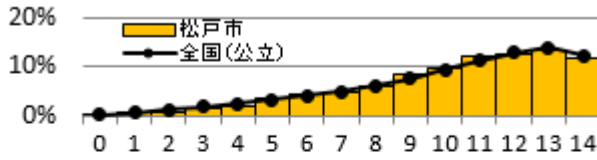
学習活動の中で思考したものを、表現していく場面を多く設定していくことが重要です。

令和5年度全国学力・学習状況調査 松戸市の学力状況【中学校】 国語・数学

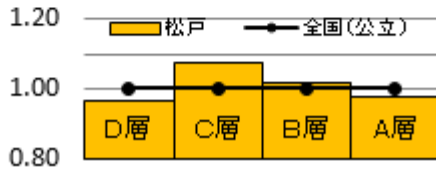
※令和元年度より国語A、B及び数学A、Bがそれぞれ国語、数学となって出題されています。

正答数と4つの学力層の分布

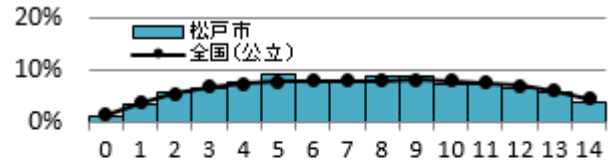
中学校 国語



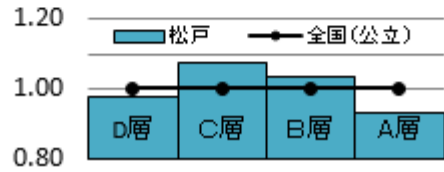
層	D層	C層	B層	A層
	0問～8問	9問～10問	11問～12問	13問～15問
松戸市	24.7%	18.0%	24.6%	32.7%
全国(公立)	25.6%	16.8%	24.2%	33.4%



中学校 数学



層	D層	C層	B層	A層
	0問～4問	5問～7問	8問～10問	11問～15問
松戸市	24.4%	25.3%	24.8%	25.5%
全国(公立)	25.0%	23.6%	24.0%	27.4%



【傾向と課題】

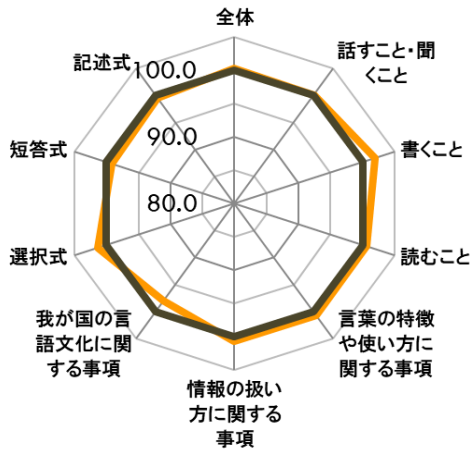
「正答数」について、国語、数学ともに、全国と同程度の分布状況です。

「4つの学力層」について、国語、数学ともに C 層の割合が高く、特に数学は A 層の割合が低いことが課題です。

3年間の推移(全国平均を100とした指数)

標準化得点	国語	数学
令和3年度	100	100
令和4年度	100	100
令和5年度	100	100
全国(国公立)	100	100

教科についての傾向と課題(各区分の全国の平均正答率を100とした場合の相対値を示す)



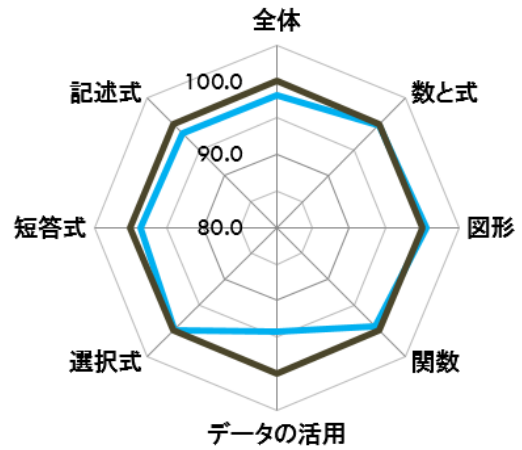
中学校 国語

【傾向と課題】

各領域・問題形式ともに、全国平均と同程度ですが、「我が国の言語文化に関する事項」の領域について課題が見られます。

【改善のポイント】

文章を読み、自分の考えを広げ、深めるためには、生徒が自分で課題を設定し、理解したことと自分の考えや経験とを比較し、関連付けながら解決する場面を設定することが大切です。



中学校 数学

【傾向と課題】

領域では、全体的に全国平均とほぼ同程度であるが、「データの活用」について、課題がみられます。

問題形式については、全体的に全国平均とほぼ同程度です。

【改善のポイント】

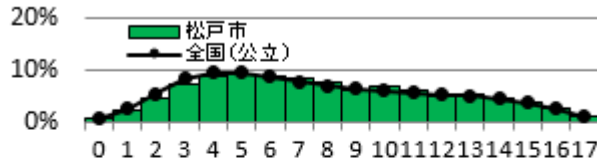
表やグラフなどからデータの傾向を適切に読み取り、批判的に考察し判断できるような課題の設定が必要となります。また、その判断理由を数学的に説明できるようにすることが大切です。

令和5年度全国学力・学習状況調査 松戸市の学力状況【中学校】 英語

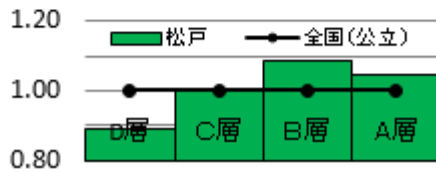
※英語は4年ぶり2度目、令和元年度以来の実施です。

正答数と4つの学力層の分布

中学校 英語 聞くこと・読むこと・書くこと



層	D層	C層	B層	A層
	0問～4問	5問～7問	8問～10問	11問～17問
松戸市	23.7%	26.2%	21.1%	29.0%
全国(公立)	26.6%	26.1%	19.4%	27.8%



【傾向と課題】

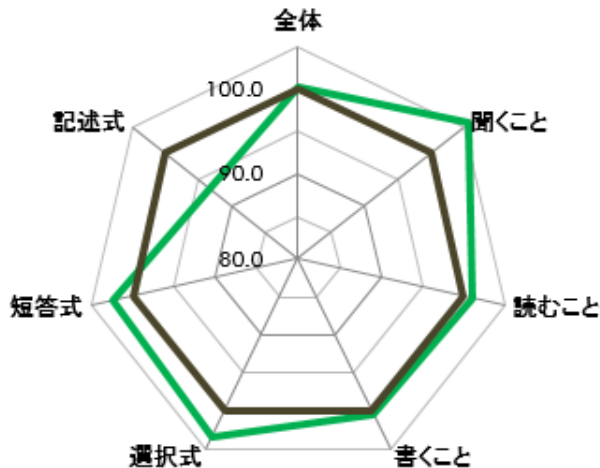
「正答数」について、小学校、中学校ともに、全国と同程度の分布状況です。

「4つの学力層」について、特に「読むこと」のD層C層の割合が高く、B層A層の割合が低いことが課題です。

前回との比較(全国平均を100とした指数)

標準化得点	小学校	中学校
R元年度	100	100
R5年度	100	100
全国(国公私)	100	100

教科についての傾向と課題(各区分の全国の平均正答率を100とした場合の相対値を示す)



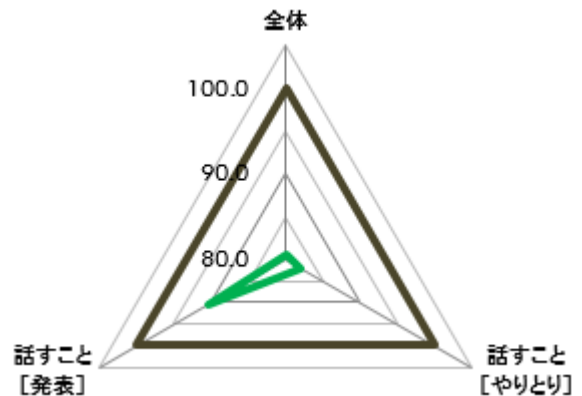
中学校 英語 「聞くこと・読むこと・書くこと」

【傾向と課題】

全体的に全国平均を上回っています。問題形式では特に「聞くこと」の正答率が高く、「記述式」については課題が見られます。

【改善のポイント】

日常的な話題や社会的な問題について、事実や自分の意見などを整理し、まとまりのある文章を英語で書く練習が必要です。また、友達の意見にコメントをしたり、協働して文章を作り上げたりする等、お互いに高めあう活動を行うことで、よりよい文章を作れるようにしていくことが重要です。



中学校 英語 「話すこと」

【傾向と課題】

話すこと[発表]、[やりとり]ともに全国平均を大きく上回っています。特に[やりとり]に課題が見られます。

【改善のポイント】

特に「話すこと[やりとり]」については、「日付に関する基本的な表現」、「未来の表現」、「疑問文の表現」について、基本的な表現が身につけているかが問われています。時間をかけずにすぐに反応できるよう、何度も練習することが大切です。

令和5年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙と学力の関係

児童生徒質問紙から

以下の回答をしている児童生徒は、教科の平均正答率が高い傾向が見られます。

国語、算数／数学、英語の授業では・・・

- 小 中 国語、算数／数学、英語の勉強が好き
- 小 中 国語、算数／数学、英語の勉強は大切だと思う
- 小 中 国語、算数／数学、英語の授業の内容はよく分かる
- 小 中 国語、算数／数学、英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う

国語の授業で・・・

- 小 言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいる
- 小 立場や考えの違いを意識して話し合い、異なる意見を生かして自分の考えをまとめている
- 小 物語を読む際、登場人物の性格や特徴、全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているかに着目している
 - 中 行書の基礎的な書き方(点画の連続・省略や筆順の変化等)を理解して書いている
 - 中 自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫している
 - 中 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いている
 - 中 文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化等について、描写を基にとらえている

英語の授業で・・・

- 中 英語を読んだり聞いたりして(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていた
- 中 スピーチやプレゼンテーション等、まとめた内容を英語で発表する活動が行われていた
- 中 自分の考えや気持ち等を英語で書く活動が行われていた
- 中 聞いたり読んだりしたことについて、友達と英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた
- 中 聞いたり読んだりしたことについて、内容を英語で書いてまとめたり考えを英語で書いたりする活動が行われていた

教科の授業や学級活動等、学校生活の中で・・・

- 小 中 学校に行くのは楽しい
- 小 中 先生は、あなたのよいところを認めてくれている【算数・国語・数学・英語】
 - 中 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれている
- 小 中 自分と違う意見について考えるのは楽しい
- 小 中 家にある本の冊数が多い(雑誌、新聞、教科書を除く)
- 小 新聞を読んでいる
- 小 中 読書が好き
- 小 中 授業で、自分の考えを発表する機会が、うまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫していた
- 小 中 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、取り組んでいた
- 小 中 授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた
- 小 中 授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた
 - 中 授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器をほぼ毎日使用している
 - 中 学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強に役立つと思う
- 小 中 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている
- 小 中 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている
- 小 中 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている
- 小 中 総合的な学習の時間では、自ら課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する等の活動に取り組んでいる
 - 中 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている
- 小 中 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる
- 小 中 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる
- 中 学校の部活動で、普段(月～金曜日)活動を行った日は、平均して1時間～2時間、活動をしている

家庭では・・・

- 小 中 朝食を毎日食べている
- 小 中 毎日同じくらいの時刻に就寝、起床している
- 小 中 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)勉強する時間が長い(学習塾等を含む)
- 小 中 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、勉強する時間が長い(学習塾等を含む)
- 小 中 家で自分で計画を立てて勉強をしている(学校の授業の予習や復習を含む)
 - 中 普段(月～金曜日)、PC・タブレットなどの ICT 機器を、平均して30分～1時間、勉強のために使っている
 - 中 日常的に英語を使う機会が十分にあった【英語】
 - 中 家庭学習の課題(宿題)として、PC・タブレット等の ICT 機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしている【数学・英語】

今回の調査では・・・

- 小 中 調査問題の解答時間は十分だった
- 小 中 国語の問題では、解答を文章で書く問題について、最後まで書こうと努力した
- 小 中 算数・数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題について、最後まで書こうと努力した
 - 中 英語の問題では、まとまりのある文章を書く問題について、書く内容もその内容を表現する英語も思い浮かんだ
 - 中 英語の問題では、聞いたことについてまとまりのある内容を話す問題について、聞いたことを理解し、話す内容もその内容を表現する英語も思い浮かんだ

その他、児童生徒個々の考え方等について・・・

- 小 中 自分には、よいところがあると思う【算数・中国・数学・英語】
- 小 人が困っているときは、進んで助けている【国語】
- 小 中 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う【国語】
- 小 人の役に立つ人間になりたいと思う
- 小 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う
 - 中 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることが多い
 - 中 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい【英語】
 - 中 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい【数学・英語】

学力向上に向けて

学校では

- ◆学習規律(私語をしない、話し手の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始時間を守る、忘れ物をしないなど)の確立に努める
- ◆児童生徒が自ら「学習したい」「知りたい」と意欲がわく、導入などでの内容の工夫・改善をする
- ◆授業においては児童生徒自身で学習課題を作り、協働しながら課題解決に向かうよう工夫する
- ◆「学習した内容」と「普段の生活や将来」を結びつけた、まとめや振り返りの活動を取り入れる
- ◆話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるような指導を工夫する
- ◆授業では次のような場面を設定し、言語活用科の学習で身につけたスキルを活用できるようにする
 - ・自分の考えを書いたり、発表したりする場面
 - ・理由や根拠を説明する場面
 - ・相手の考えを最後まで聞き、整理する場面
- ◆問題の解き方がわからなくても、最後まで諦めず、いろいろな方法を考えるよう指導する
- ◆家庭学習の充実に向けて、家庭との連携を図る(e-ライブラリ等の家庭学習ツールを活用する)
- ◆実態を捉えた研修の充実を図る
- ◆児童生徒が達成したことや達成するために努力したことを称賛する
- ◆家庭・地域などの人材を活用する
- ◆教科等横断的な視点での授業改善を行う
- ◆ICT(動画やデジタル教科書等)を、効果的に活用した分かりやすい授業を実践する

家庭では

- ◆朝食を食べることや決まった時間に寝起きすることなど生活習慣を身につける
- ◆学校の授業時間以外に勉強する時間を確保する
- ◆計画を立てて、宿題や授業の復習をする
- ◆携帯電話・スマホ、テレビ、ゲーム等の時間を調節できるよう約束を決める
- ◆本や新聞を読む習慣をつける
- ◆家族で学校での出来事、ニュースや地域の出来事を話題にする

教育委員会では

- ◆学校における学力向上を目指した取り組みを積極的に支援する
- ◆教員の指導力向上を目指した効果的な研修を実施する
- ◆言語活用科を軸とした学習システムを構築し、教科の学習に活用が図られるようにする
- ◆全国学力・学習状況調査の分析結果を情報提供し、各学校における実態分析や指導改善を推進する